

令和6年度 都内医療保険者のデータヘルス計画推進に向けたデータ分析 概要

目的

都内保険者が自保険者の状況を客観的に把握し、保健事業の質向上につなげられるようにする。

分析の方向性

○医療費等データ

第四期東京都医療費適正化計画で経年変化を把握することとしている医療費が高い疾病の状況、効果が乏しいというエビデンスが指摘されている医療、医療資源の投入量に地域差があるとされている医療等について、全国及び東京都の実績を把握・分析する。

○健診データ

特定健診及び後期高齢者の健康診査の結果のうち、被保険者の生活習慣病の発症に影響を与えるものとして検査項目及び質問票の回答状況を一部選定し、全国及び東京都の実績を把握するとともに、都内の保険者種別ごとの傾向がわかるよう、協会けんぽ、国保、後期高齢のデータを把握・分析する（各項目について、性・年代別で把握するとともに、協会けんぽについては業態別も把握する）。

○保険者データ

保険者協議会委員の保険者が有する特定健診データを用いて、被保険者の健康状態と生活習慣との関連を可視化するために、検査結果と質問票回答状況をクロス分析する。

分析結果（令和3年度、令和4年度データを使用）

○医療費等データ

別添「①医療費等データ」のとおり

○健診データ

別添「②健診データ」のとおり

○保険者データ

別添「③クロス分析データ」のとおり

上記を、有識者（東京大学未来ビジョン研究センター特任教授 古井祐司氏）による講評とあわせて、保険者協議会ＨＰで公表